

ウ 本時の授業

検証授業 (1) 第 1 時

(ア) 題材 「常識」全文

(イ) 本時のねらい

1. 学習の目標と手順を確認させる。
2. 全文を通読して、話題の概略を文章化させる。

(ウ) 指導過程

(太枠は仮説の働くところ)

学習活動・内容	時間	指導上の留意点
1. 本時の目標を確認する。	5 分	2 での説明内容 ① 自己診断票の項目に従って、手順を説明する。 ② 要点と細部の見分け方の類型を示す。
2. 読解手順の講義を聞く。	30 分	

検証授業 (2) 第 3 時

(ア) 題材 「常識」全文

(イ) 本時のねらい

本教材の学習目標達成に必要と思われる学習課題を、班別の話し合いによって作成させる。

(ウ) 指導過程

学習活動・内容	時間	指導上の留意点
1. 本時の目標を確認する。	5 分	1. 共同学習の意義を説明し話し合いの態度について注意する。 2. 学習課題作成の手だては事前に示しておく。 ○ 意味不明の語句や内容 ○ 要点不明のところ ○ みんなで考えたいところ  ↓ カードに清書させる。 ↓ 印刷→配布
2. 班別で話し合っ、学習課題を作成する。		
(1) 係分担を決める。 司会・朗読・語句説明・要点説明		
(2) 各自持参した課題カードを、頁・行ごとに切って並べ台紙に張る。		
(3) 上記の課題一覧表を使用して話し合い、解決する。 (4) 担当小段落の学習課題を作成する。 (5) 課題設定カードに記入して提出する。		
3. 次時の予告を聞く。		

検証授業 (3) 第 4 時

(ア) 題材 「常識」 第 1・2 小段落

(イ) 本時のねらい

生徒作成の学習課題を用いて 1・2 段落を共同学習させ、「メールツエルの自動人形の中には、人間が隠れている。」というポオの推論を理解させる。

(ウ) 指導過程

学習活動・内容	時間	指導上の留意点
1. 本時の目標を確認する。	5 分	3. 教師の司会・指導によって、班の発表や指名を交え学習課題を解決させる。
2. 自作課題集を用いて調べ読みした内容を持ち寄って 1・2 段を班別学習で読み取る。	20 分	
3. 全体学習をして 1・2 段の読みの修正や深化を図る。	20 分	
4. 自己診断票に記入して提出する。	5 分	

学習課題とその解決例

ア 「常識」という語は、日常生活でどのような意味合いで用いられるか。	ア 辞書の定義や用例を挙げさせ、善悪両用の意味合いで使用されていることに気付かせる。
イ どのような話題を扱った文章か。	↓ この文章では、どちらの意味か。またそれは、何段でわかるのか考えさせる。
ウ 1 文と 2~4 文とは、どのような接続関係か。	イ 反復されている語句に注目させる。
エ 7 行の「それ」の具体的な内容は何か。また、述部はどの語か。	ウ 参考プリントの類型を使って考えさせる。
オ 「一定の既知事項の必然的な発展には、一定の結果が避けられぬ」とは、どのようなことか。	エ~カ 次のような対応関係を図示させて、説明させる。
カ 8 行の「そういわば」は、どの語とどの語が類同の表現であることを示しているか。	主語 それは (数学の計算と同様に) (一定の既知事項の必然的な発展には) a 一定の結果が避けられぬ    そういわば b 答えは最初に与えられている
キ 「天狗ども」とは何のことか。	述語 c 孤立したシステム ↓ でなければならぬ。
ク 1・2 段落の要点を書け。	
ケ 1・2 段の接続関係を説明せよ。	